



こそだて通信

かしのき保育園 2011年度 No.1

==お子さんとの時間==

新緑がまぶしい時期となりました。保育園での新しい生活が始まって、1ヶ月、お子さんの様子はいかがですか？

新しくお仕事を始められて、お子さんを保育園に預けられた方もいらっしゃることでしょう。子どもを預けて仕事をしていることに対して、「一緒にいられなくて申し訳ない」「何か悪影響があるのではないか」という思いをお持ちの方もいらっしゃるかもしれません。

日本では、昔から3才児神話（3歳までは親元で育てることがいいことだ）といわれ、今でも信じられている風潮があります。

けれど、それを覆す研究がアメリカで行われていますのでご紹介します。

それによると、全米10ヶ所で約1100の世帯を対象に調査したところ、お子さんを保育園に預けたか預けなかったかでは、その後の成長を見たときに「子どもの心の安定感に差はない」という結果が出たそうです。

よく言われていることではありますが、お子さんとの関わりは『量より質』。一緒にいる時間が短いからといって、子どもの心が不安定になるということではないのです。

ただ、やはり一緒にいる時間が短い中、お家に帰ってしなければいけないことに追われていると、ついお子さんとの時間を後回しにしがちです。意識して時間を作ることも必要になるでしょう。

例えば、帰宅してからの5分間は抱っこしながらお話をします。例えば、食事中は顔を見合わせて話し、笑いあう。例えば、寝る前の5分間は膝の上で絵本を読んであげる。例えば、1日1回はお子さんをぎゅっと抱きしめる、など、何かひとつご自分の出来る範囲でお子さんに接していただけたらと思います。

その少しのふれあいだけで、お子さんはたくさんの安心とエネルギーをもらうことができますから。